

吉野工作所

スチールパイプと継ぎ手を組み合わせてラックなど、さまざまな構造物をつくる商品「イレクター」。ホームセンターなどで目にする機会も多い。吉野工作所（静岡市駿河区、吉野正臣社長、054・2885・3967）は、その継ぎ手「イレクタージョイント」製造が主力。特徴的なのは電磁誘導加熱（IH）を採用した粉体塗装工程。ポイントには「可変型コイル」だ。約80個のイレクタージョイントが掛けられたハンガーが、円状に

モノづくり現場

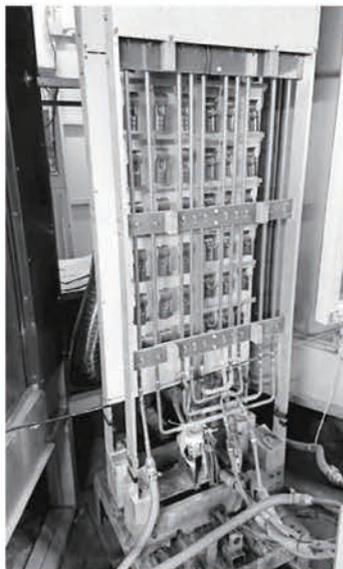
エレクトロヒート技術最前線

12

工場（静岡県焼津市）の塗装棟だ。加工対象物（ワーク）に粉体塗

I H可変型コイル

ワークとの距離変更自在



料を付着させた後、IHで焼き付ける。もともとは外注による溶剤塗装だった。品質改善とコスト低減を目的に内製に切り替え

は10×10センチとスペースは限られる。一般的な加熱方法である乾燥炉は大きかりとなるため省スペースのIHを採用した。

ワークをコイルで挟む格好で両側から加熱

幅に変われば適した幅に変更しなければならぬ。とはいえない。ちいち段取り替えをするのでは効率が悪い。それを解決したのが可変型コイル

ワークとの幅を自在に変えられるIH可変型コイル

イルだ。銅線を通した、柔軟性のあるチューブで二つのコイルをつなぎ、幅を自在に変更できるようにした。各ハンガーをICタグで管理し、ワークに応じて自動で幅を変えている。

現在、両社はスガが窓口と全体設計、吉野がコイル設計を担当して、共同でIH塗装装置事業を展開する。東芝キヤリア（川崎市幸区）など着実に顧客を増やしている。菅沼氏は「我々の強みは設備だけでなく塗料のノウハウもあること」と強調する。

同様にIHを提案し、可変型コイルを考案した人物がいる。大手塗料メーカー出身で、現在はスガコーティングス（静岡市清水区、054・368・6942）社長の菅沼（名古屋・伊藤研二）

【事業所概要】▽所在地 静岡県焼津市浜当目9800の1、054・627・8505▽主要生産品目 イレクタージョイント▽年間CO₂排出量 非公表